

■斎藤幸雄(長秋)
さいとう ゆきお
・・・・・・1737＝

和学者・神田雑子町の町名主。「江戸名所図会」発案，出版計画の許可得たところで急逝した。
生。

斎藤家は代々草創名主として江戸で重きをなした。江戸の草創名主は，江戸の町名主のなかで最も地位の高い名主で，慶長・元和・嘉永頃から町々の世話役をつとめていた家であって，馬込勘解由とか高野新右衛門のような名家が享保時代に29家あり，天保改革までに5家断絶して24家となった。斎藤家はこの24家のうちの1家で，江戸初期から雑子町に居住し，代々斎藤市左衛門を名主名として襲名してきた。

徳川吉宗隠居1745＝ 8歳：
菅原伝授十・1746＝ 9歳：

徳川吉宗没・1751＝14歳：

自然真営道・1755＝18歳：

大岡忠光没・1760＝23歳：

千代女句集・1764＝27歳：

幸雄はそうした名主役を勤めるとともに，秀れた文化人としても活動していた。

田沼意次老中1772＝35歳：
大原騒動・・・・1773＝36歳：

・・・・・・1780＝43歳：*この年出版された秋里籬島の「都名所図会」に刺激を受け，「江戸名所図会」の前身ともいうべき「東都名所図会」の出版を計画，
天明大飢饉始1782＝45歳：

田沼意次失脚1786＝49歳：

混浴禁止・・・・1791＝54歳：*家督を譲って，本格的に編纂事業に取り組み始め，

松平定信引退1793＝56歳：

昌平黉始・・・・1797＝60歳：_この年，「東海道名所図会」が出版されたのにも焦らされて，
古事記伝・・・・1798＝61歳：*重版・類版問題をクリヤすべく，版權を持つ須原屋茂兵衛・伊八に出版計画を持ち込み，
蝦夷地直轄始1799＝62歳：*出版許可までとり，序文をしたためたところで，果たさずして没した。